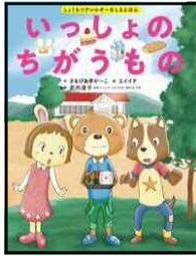


1 いっしょのちがうもの



- ① さるびあ亭かーこ/作
エイイチ/絵
武内澄子/監修
- ② 絵本塾出版
- ③ 1300円
- ④ E

食物アレルギーをもつアレック。体に合うものだけしか食べられないため、給食がみんなと違います。自分の体を守るために食べないだけなのに、友達から何度も「かわいそう。」と言われてしまいます。「ぼくって、そんなにかわいそう？」と涙ぐむアレック……。

「違い」を認め合うことの大切さについて考えさせられる絵本です。

2 種子島ロケット打ち上げ



- ① 濱美由紀/作画
- ② 小学館
- ③ 1500円
- ④ E

私たちの郷土、鹿児島県の種子島に陸揚げされたH-II Bロケット6号機。このロケットが、部品からどのように組み立てられ、発射されるのか、リアルなイラストとともに分かりやすく詳しい解説（英訳付き）がなされています。ロケットの仕組みや歴史だけでなく、発射場である種子島がどのように紹介されているかも興味深いです。

3 ムラサキダコ 海からあらわれるマンツの怪人



- ① 中村宏治/写真・文
奥谷喬司/監修
- ② フレーベル館
- ③ 1400円
- ④ E

「ムラサキダコ」はタコだけどイカみたいな形をした不思議な生き物です。この絵本は、島根県の沖泊に現れたムラサキダコの様子を迫力ある写真で紹介しています。

タイトルの「マンツの怪人」とはどのようなことなのか、読み進めていくとその秘密が分かります。海の中の不思議な生き物「ムラサキダコ」についてもっと知りたくなる一冊です。

4 もうどう犬べえべ



- ① セアまり/文
平澤朋子/絵
- ② ほるぷ出版
- ③ 1500円
- ④ E

べえべは、いつも困った顔をしているもうどう犬です。そんなべえべは、ほとんど目の見えないメグと一緒に生活することになります。もうどう犬はどんなことをする犬なのか、目の不自由な人が困っているときにはどうしたらよいのか教えてくれる一冊です。

5 小学生のための論語



- ① 齋藤孝/著
- ② P H P 研究所
- ③ 1200円
- ④ 12サ010

「なぜ勉強するの?」「どう生きればいいのか?」「友達と仲良くするには?」……そんな疑問を持ったとき、この本を開いてみてください。論語の原文から書き下し文、意味ややさしい説明が見開きのページに一つずつ紹介されています。書き下し文を声に出して何度も読むことで、心に入り、いつの間にか覚えてしまっていることでしょう。

6 佐藤初女物語 おむすびに心をこめて



- ① あんずゆき/著
- ② PHP 研究所
- ③ 1400円
- ④ 28サ018

自分自身の経験から、食べることの大切さに気付き、おむすびをむすんで人々の心に寄り添った女性、佐藤初女さん。初女さんのおむすびで、多くの方が元気を取り戻しました。果たして、彼女のおむすびってどんなおむすびなのでしょう。そして、どんな力を持っているのでしょうか。

7 昆虫の体重測定



- ① 吉谷昭憲/文・絵
- ② 福音館書店
- ③ 1300円
- ④ 48ヨ018

身近にいる昆虫の重さってどれぐらいあるのでしょうか。この本には、いろいろな昆虫の重さを測定した結果が紹介されています。同じ昆虫でも、個体差がどのくらいあるのか、オスとメスでどう違うか、幼虫と成虫を比較するとどうかなど、興味深い話に探究心が刺激される人も多いはずですよ。

8 貨物船のはなし



- ① 柳原良平/作
- ② 福音館書店
- ③ 1300円
- ④ 55ヤ017

鉄道や自動車、飛行機などに比べると、速さではかきませんが、大きな物や重い物をたくさん運ぶことができるという点で、貨物船の活躍がなければ、私たちの生活は成り立ちません。そんな貨物船にはどのような歴史があり、これからどのように発展していくのか、美しい貼り絵で表現された絵を見ながら、一緒に考えてみませんか。

9 あたらしい子がきて



- ① 岩瀬成子/作
上路ナオ子/絵
- ② 岩崎書店
- ③ 1300円
- ④ 91イ014

一つ違いの姉妹、みきとるいの家に新しい子がやってきました。名前はけん。生まれたばかりの弟です。いっしょにやってきたおばあちゃんも、お母さんも、そしてお父さんまでけんのことばかり。ちょっとつまらなくなってきた二人が公園に行くと、そこで、猫を抱いたおじさんとちょっと不思議なおばさんに出会うのですが……。

10 どどこ山はどこにある



- ① おおぎやなぎちか/作
松田奈那子/絵
- ② フレーベル館
- ③ 1300円
- ④ 91オ018

退屈な夏休みを過ごしていたサトシ。弁当屋を営む両親のために、キワさんの「まぼろしのたまご」で卵焼きを作る計画を立てました。しかし、卵を分けてもらうには、「キワさんを納得させる手伝いをする」という条件が出されました。

両親のための卵焼き作りはうまくいくのでしょうか。夏休みに夢中になれる「目標」を見つけたサトシの成長物語です。

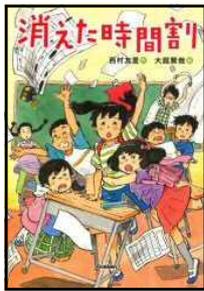
11 シランカッタの町で



- ① さえぐさひろこ/作
にしむらあつこ/絵
- ② フレーベル館
- ③ 1300円
- ④ 91サ017

「ぼくはクラスで『よわっち』と呼ばれている。ただのあだ名だから気にしないって思ってきたけど。」ある日、久しぶりに行った幼稚園で不思議なおばあさんと出会い、見せてもらった万華鏡をのぞくと「シランカッタの町」という見知らぬ町へやってきて、ぼくはもう一人のぼくと出会うことに……。勇気が湧いてくる一冊です。

12 消えた時間割



- ① 西村友里/作
大庭賢哉/絵
- ② 学研プラス
- ③ 1300円
- ④ 91ニ018

真子のクラスで毎週配られる「時間割予定」に墨汁が飛び散ってしまいます。それを機にクラスでは不思議なことが次々に起こります。時間割予定の墨汁のしみがついたところが消えたとおりになってしまうのです。これは、江戸時代から伝わる寺の伝説が関係しているのか。ハラハラドキドキが止まらない一冊です。

13 大好き！おじさん文庫



- ① 深山さくら/著
- ② 文研出版
- ③ 1200円
- ④ 91ミ018

1974年4月から毎月、山形県の羽黒第四小学校へ本代を送ってくれる「鶴岡のおじさん」。名前も顔も分からないおじさんへ子どもたちは「ありがとう」の気持ちを手紙にしたり「おじさんまつり」を開催したりします。月日は流れ、閉校が決まった学校へ鶴岡のおじさんが来てくれることに。おじさんと子供たちとの対面は感動的です。

14 マネキンさんがきた



- ① 村中李衣/作
武田美穂/絵
- ② B L 出版
- ③ 1300円
- ④ 91ム018

川でマネキンを拾ってきたサトシとトオル。「マネキンさん」と教室で一緒に過ごすことに……。そんな中、参観日でダンスの発表をすることになったサトシたち。いつも静かな岡さんがマネキンさんを抱いて踊ることに。ダンス発表会は成功するのか。子供たちの心はつながっていくのか。最後は心が温くなる一冊です。

15 図書館にいたユニコーン



- ① マイケル・モーパール/作
ゲリー・ブライズ/絵
おびかゆうこ/訳
- ② 徳間書店
- ③ 1300円
- ④ 93モ017

山や森を駆け回るのが大好きなトマス。ある日、お母さんに無理やり図書館に連れて行かれます。そこで見たものは、木でできた「ユニコーン」と、女性の司書「ユニコーン先生」。いつの間にか本の楽しさに目覚めていくトマス。そんな中、突然村に戦争がやってきます。さあ、図書館はどうになってしまうのでしょうか。